



ガチャポン  
募金を実施中!  
「うーちゃん」  
缶バッジも  
よろしくね!



# 社協だより

編集 / 発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会  
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

TEL 0893-23-0313  
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>  
大洲市社協 検索

## 大洲市地域支え合いセンター 開所

平成30年10月1日(月)「大洲市地域支え合いセンター」(大洲市から委託)を開設しました。被災された方々の生活に寄り添う、生活支援対応への活動を中心に取組んでいきます。

なお、平成30年7月10日(火)から活動してきました、大洲市災害ボランティアセンターについては、平成30年11月末をもって閉鎖させて頂きますが、引き続き、被災による泥出し作業等も地域支え合いセンターで調整を行ってまいりますのでご理解・ご協力をお願いします。



10月9日開所式の様子

### 地域支え合いセンターとは

今回の災害で被災された方の生活課題等のご相談に応じ、「住民同士で助け合いながら復興を進める地域づくり」を住民の皆さんとともに進めるなど、被災された方々の生活再建を目指していきます。

#### 支援内容・・・

仮設住宅や被災されたお宅等を訪問しながら、見守り・声掛けをしたり安否確認を行います。

被災者の生活・健康上の困りごと等をお聞きした上で、生活再建の支援に関する情報を提供します。

被災した住民の方々や周辺住民の方々との交流が図れるよう支援します。  
例) サロン活動や語り合いの場づくり

「つなぎ役」として、関係機関(行政やNPO団体、自治組織等)と情報交換・連絡調整を行います。



私たちが訪問します。  
よろしくお願いします。

#### 問い合わせ先

大洲市社会福祉協議会内  
大洲市地域支え合いセンター  
☎23-0313

# 現場実習レポート～

## 高知県立大学 3回生 中田有紀



私は、8月13日から9月14日までの1か月間、大洲市社会福祉協議会(以下、社

協)で実習をさせていただきました。7月7日に発生した豪雨災害により立ち上がった、災害ボランティアセンター(以下、ボラセン)での実習を経験することができ、実習生としてなができるのか悩みながらではありましたが、通常の実習では学べないようなことを学べた実習となりました。また、私が目指している社会福祉士が災害時においてなができるのか、考える機会にもなりました。

今回の災害により大洲市には大きな被害がありました。しかし、多数のボランティアのみなさんの力を借り、以前の大洲市の姿を取り戻しつつあります。家財の運び出しや泥かき等、人手が必要となる中、ボランティアさんの存在はとて大きかったと思います。なにより、大勢のボランティアさんが助けにきてくれたということが、心強く感じました。そして、被害に遭い心身ともに疲労が残る中、だれかの声や笑顔に不安が和らいだのではないかと思います。片付けや力仕事はもちろん、話をする、コミュニケーションをとるといったボランティアとしての役割もあ

ると感じました。ボランティアのみなさんの力を受け、改めて人と人との助け合い・支え合いを感じ、その助け合いにも多様な形があることを学べました。

また、ボランティアさんだけではなく地域住民同士の支え合いを感じる場面もありました。地区のなかで、被害の小さかった家の方が被害の大きかった家の方の片付けを手伝っていたり、おかずの差し入れを行っていたり、そのほかにも住民同士の支え合いが数多くありました。隣近所の住民同士で助け合いを行うような互助の関係性が希薄になっていくところもあるなか、昔ながらのつながりが今も残っているということは大洲市の良さだと思っています。こういった、支え合いができるつながりがあることは、災害時にとても大きな力になると実感することができました。

緊急時に支え合えるようなつながりを形成することも社会福祉士の重要な役割であると感じました。そして社協では、個人ではなく組織という大きな働きにより、さらに大きなつながりの形成を行うことができなます。地域におけるつながりは災害時のみでなく、普段においても大きな力となります。今回の実習では、地域におけるつながりがいかに重要であるか学ぶことができました。そして今後は、そのつながりを形成するためにどうすればよいのか考えていきたいと思っています。

最後になりましたが、お忙しい中

ご指導をしていただきました社協職員の皆様さん、関係機関のみなさん、大洲市民のみなさん、本当にありがとうございました。たくさんのご迷惑をおかけしたと思いますが、とても良い経験させていただきました。この実習で学んだことをもとに、さらに勉強を続けていきたいと思っています。また、大洲市の復興に向けて私なりにできることを考え、普段の暮らしの幸せを取り戻せるよう少しでも力になればと思います。



## 武庫川女子大学 3回生 山本佳奈



私は、8月13日から9月14日までの約1ヶ月間、大洲市社会福祉協議会(以下、社

協)で実習をさせていただきました。実習が始まった当初は、西日本豪雨災害による災害ボランティアセンター(以下、ボラセン)の運営が真只中で、このような時にお世話になっても良いのか、実習生に何ができるのかと不安でした。ですが、社協の皆様がとても温かく迎え入れてくださり、このような時だからこそ

他では得られないことを学び、できることを精一杯しようと、前向きに考えることができました。

実際に実習では、ボラセンの運営などに関わらせていただき、今こでしかできない経験や学びが多くありました。災害とは無縁で生きてきた私にとって、被災された方の声を生で聞くことや、実際の被災状況を目にすることは、とても衝撃的でした。その一方で、このような大変な状況の中でも人への思いやりをもって復興を目指す方や、私たち実習生にも笑顔で接して下さる方、お互いに助け合っている地域の方々、1日も早い復興を願って大洲に足を運んでくださるボランティアの方々など、たくさんの方と出会うことができ、大洲の素晴らしさ、人間の温かさに胸がいっぱいになりました。さらに、災害発生時から応援に来てくださったという県外市外の社協職員様との出会いも、私を大きく成長させてくれました。

今回の実習を通して一番の学びは、社会福祉士として援助する上で、基盤となる視点は何であるのかという事です。実習を終えた今、答えを出すとなると、権利を擁護しながらいかに自立(自律)をサポートしていくか、なのではないかと感じます。今回の災害時においても、全てに介入するのではなく、自分でできることとできないことの区別をした上で、サポートすべき点を考えることが求められます。

# ～社会福祉士

今持っている力や強みを奪うことは決してあってはならないですし、パワーレス状態の部分に気づかないこともあってはなりません。また、人々はみな同じように権利を有しますが、人それぞれ望むことは違います。歩んできた人生も違えば、今いる環境も違い、価値観も性格もそれぞれの色があります。同じ障がいを持っていたとしても、決してみんなが同じわけではなく、認知症でたくさんさんの記憶を失ったとしてもその人らしさは消えませんが、その人が何を望んでいて、どのような部分にサポートが必要なのかを見極め、その人らしい生活を実現するサポートこそ、社会福祉士の役割であると思います。そのようなことに気付けたのも、社協の皆様が地域の方々と真摯に向き合う姿を近くで見ることができたからだと思っています。

最後になりましたが、ご多用中にも関わらずご指導くださった実習指導者様をはじめとする社協職員の皆様、関係機関の皆様、大洲市民の皆様、本当にありがとうございました。皆様から学ばせていただいたことは、社会福祉士を目指す者として、また一人の人間として、勉強になることばかりでした。いつか立派な社会福祉士として皆様にお会いできることを夢見て、勉強に励んでまいります。本当にありがとうございました。



## まごころのおくりもの 9月分

### 金銭の部 (一般分)

城戸 正紀 様 大洲  
森本 次郎 様 千葉県

### (指定分)

《平野地区社協へ》  
宇都宮 輝茂 様 平野町

《大川保健福祉協議会へ》  
岡 サチ子 様 森山  
中塚 義己 様 蔵川

《柳沢地区社協へ》  
河野 孝志 様 柳沢  
城戸 利教 様 藤縄

《八多喜地区社協へ》  
城ノ戸 保孝 様 東京都

※黄色塗の箇所は、西日本豪雨災害見舞金・義援金として

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。



平成三十年十月六日(土)、大洲市立図書館脇川分館において「心をつむぐ小さな音楽会」が開かれました。これは、平成三十年七月豪雨により被災した脇川町鹿野川地区のふれあい・いきいきサロン「どんどこサロン山鳥坂」さんが会員ほか地域のみなさんを元気づけようと企画開催されたものです。出演者は大洲市内の三線(さんしん)愛好会のメンバーを含む愛媛県内で三線(さんしん)での音楽活動をしておられる方々等を迎えて、奄美群の民謡「シマ唄」・沖繩の音楽や懐かしい童謡・歌謡曲の演奏、更には宮沢賢治等の詩の朗読が披露されるなど盛りだくさんの演目の三時間でした。訪れたみなさんは手拍子を打ったり一緒に歌を口ずさんだりと会場一体となつての楽しいひと時に今後の再出発への元気をもらえたご様子でした。

「心をつむぐ小さな音楽会」開催  
どんどこサロン山鳥坂

## 俳句ひろば

桃の実や妻の命を長らへし

佐野 満寛

評 闘病の奥様が桃を喜ばれた。その事だけでも心安まる作者なのです。

母懐かしやふんばりと鳳仙花

佐野 幸子

評 何処にでも咲き親しみのもてる鳳仙花。お母様との在りし月日をいとおしむ作者です。

農継ぎし息子のシャツを着る

栗山子  
森本 正男

評 ご息子のシャツを着た案山子  
の嬉しそうな顔。そして作者も笑顔なのです。

■俳句コーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。一般・施設・学生さんからの応募、大歓迎です。みなさんからののお便りお待ちしております。

大洲市社会福祉協議会 地域福祉係  
☎ 093-10313    ☎ 093-10205

**第66回**  
**「愛媛県社会福祉大会」開催**

10月4日(木)、ひめぎんホールで「第66回愛媛県社会福祉大会」(主催・愛媛県社会福祉協議会、愛媛県共同募金会、愛媛県民生児童委員協議会)が開催されました。

県下各地から福祉・保健・医療その他の関係者約2800名が出席し、大洲市からも約180名の方が参加されました。

今回の講師は、西条市出身の秋川雅史氏ということで、参加者の皆さんも、「千の風になつて」を聞ける!と期待が増す中、講演会が開始されました。

秋川氏のルーツは、中学2年生生の時の音楽の先生との出会いであり、テノール歌手を目指すきっかけになりました。その当時、中学の合唱部は女性のみでしたが、男性を入れて混成合唱部を作りたいと言う先生の意向で、オーディションを受けて合格しました。その後、東京の大学へ進学し、イタリアで修行をした後、帰国してソリストとして活動を行い、数々のコンサートへ出演。歌手活動をしていた時に、アルバムをリリースし、「千の風になつて」がシングルカットされ、130万枚の大ヒット!その後、紅白歌合戦に出場するなど、大活躍をするに至ります。お話の中で、目標を持つこと、期間を決めることの大切さを言われ、紅白出場も目標にしていたそう

ですが、その後の目標を「オペラに出る!」と設定されたそうです。オペラの舞台は、歌手に対する評価が非常に厳しく、様々なところからオファーはありましたが、自分の声に納得いくまで毎日練習を重ね、5年の目標に対して、6年目で念願がかない出演することができたそうです。皆さんの期待どおり中盤で「千の風になつて」と最後には、「翼をください」を熱唱され、参加者の皆さんも生の声を聞くことができ大満足の講演会となりました。

社会福祉大会の式典で表彰された方々は次のとおりです。

**【愛媛県知事表彰】**

徳田 リツ(民生・児童委員)  
手話サークルドリーム(社会福祉)

福村 俊弘(共同募金従事者)  
奉仕団体)

**【愛媛県社会福祉協議会会長表彰】**

東 直美(民生委員児童委員功労者)  
武田 麗子(民生委員児童委員功労者)  
谷本 憲一(社会福祉施設功労者)

沖野 亀代子(社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者)

長生 孝代(社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者)

上野 信明(奉仕功労者)  
大野 昭洋(奉仕功労者)  
村上 美知子(奉仕功労者)

**【愛媛県共同募金会会長表彰】**

上野 信明(奉仕功労者)  
大野 昭洋(奉仕功労者)  
村上 美知子(奉仕功労者)

**【愛媛県民生児童委員協議会会長表彰】**

松林 政行(永年勤続者)



愛媛県社協  
ロゴマークと  
うーちゃん

- 小島 廣(永年勤続者)
  - 柁谷 鐵雄(永年勤続者)
  - 谷本 京子(永年勤続者)
  - 永見 景佳(永年勤続者)
  - 谷本 富士子(永年勤続者)
  - 上石 好一(永年勤続者)
  - 山本 由美(永年勤続者)
  - 坂本 ノリコ(永年勤続者)
  - 中野 俊輔(永年勤続者)
  - 西山 敏子(永年勤続者)
  - 西岡 公子(永年勤続者)
  - 宮岡 孝芳(永年勤続者)
  - 柳野 清子(永年勤続者)
  - 矢野 千代(永年勤続者)
  - 岡崎 豊(永年勤続者)
  - 谷上 佳代(永年勤続者)
  - 宮田 重伸(永年勤続者)
  - 澤井 浩二(永年勤続者)
  - 宇都宮 芳文(永年勤続者)
  - 谷本 正廣(永年勤続者)
  - 矢野 美智子(永年勤続者)
  - 奥田 重美(永年勤続者)
  - 上田 秀美(永年勤続者)
  - 山本 晴美(永年勤続者)
  - 富永 幸男(永年勤続者)
  - 寺岡 勝信(永年勤続者)
  - 宮岡 則義(永年勤続者)
  - 福見 都志子(永年勤続者)
  - 山田 ヤエ子(永年勤続者)
  - 梅木 美由紀(永年勤続者)
  - 中津 寿子(永年勤続者)
  - 菊地 郁哉(永年勤続者)
- おめでとございました。

**心配ごと相談所案内**

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】 毎週月・水曜日	【介護相談】 毎週金曜日
	【弁護士法律相談※要電話予約】 毎月第1・3火曜日(12月4日と18日)	
	【司法書士等法律相談】 毎月第2・4・5火曜日および毎週木曜日	
	大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※年末、祝日を除く	
長 浜 支 所	12月21日(金)	大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱 川 支 所	12月 5日(水)	大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河 辺 支 所	12月10日(月)	大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
問い合わせ先	本所 TEL23-0313(代表、弁護士相談予約)	TEL23-5629(相談室直通)
	長浜支所 TEL52-1194	肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510